

勝浦運転区廃止阻止へ 総力決起を確認

委定期回34
6月17日開催

六月一七日、一三時より千葉県物産センターにおいて、動労千葉第三四回定期委員会を開催した。

委員会は、議長に幕張支部の繁沢委員を選出し議事に入った。冒頭、中野委員長の挨拶（別掲）をうけ、続いて勝浦市会議員に当選をはたした水野執行委員より現状報告を含め挨拶（別掲）を受けた。

経過報告・当面する取り組みの提案を受け、質疑に入った。各支部より発言があり、活発な討論の後、中野委員長による総括答弁をもって委員会は成功裡に終了した。

出された主な意見・質問

- 六月は署名活動を全力で行うというが、七月の取り組みはどうなっているのか。
- 「鴨川運転区」となると、全面的な列車の筋の見直しとなるのではないか。
- 今全力で署名活動を行っている、これから後半も頑張る。
- 「鴨川運転区」新設の場合、廃止を許さない決議を採択



中野委員長あいさつ

「この第三四回定期委員会は非常に重要な委員会となる。九五一年は戦後五〇年節目の年、取り巻く情勢について、労働者、労働組合の立場からつかむこと、また大きく揺れ動いているJRの情勢も的確につかむことである。

今日の委員会を契機として、始まっている勝浦運転区廃止攻撃粉砕を中心とする闘いに、全体で総決起していく。

今年に入って情勢が激変している。阪神大震災、オウム事件、地方統一選挙等、戦後五〇年を象徴するような事件が、吹き出している。九五春闘は春闘四〇年

館山運転区の仕事の面は、どうなるのか。現状のままなのか？
● 売店廃止提案で支部全員の希望を調査した。

水野勝浦市議のあいさつ

われわれは署名運動を貫徹し、その力を背景に、ストライキをはじめとするあらゆる闘いを駆使し、鴨川運転区新設―勝浦運転区廃止攻撃を阻止するぞ。

「選挙闘争に続く、勝浦運転区廃止を中心とする攻撃に対し全力で闘っているみなさんに敬意を表します。勝浦を中心に行っている、勝浦運転区存続を求めている署名運動で八〇〇〇名を超えている状況です。この献身的な活動に感動さえ覚えます。悔いのない闘いをみなさんと共にや

勝浦市では、署名運動が世論

状況の中で、これが単なる労使の対立ではないことから、水野さんを市議員に擁立し地方自治体・あるいは地域から闘いを広げ、地域ぐるみの闘いをやってきました。

勝浦支部・いすみ支部を先頭に選挙を闘い動労千葉の底力をみせた。この力を署名運動に展開し、市をあげた闘いにしていく。

廃止問題での攻防が、それ以降の問題を決める。また直営店舗の廃止提案・貨物大合理化等、今年度は働く場所の問題の正念場となる。

今委員会で意志統一し全組織を上げた闘いにしていかなければならない。



第三四回定期委員会
動労千葉支部